

令和6年度 市民の声一覧（上半期公表用）

受付月	分類	件名	市民の声	回答(対応)内容	回付先
5月	市民生活(くらし)	空き家について	<p>住まいの南側のお家が空き家になっており、指定木のイチヨウの大木があります。敷地内に竹も自生しています。秋から冬にかけては落ち葉で雨樋が詰まったりと困っていますが、桜の枝も伸びて強風の折には、屋根を擦ったりしています。勝手に切ることもできませんので、。</p> <p>竹林も一度は刈り取ってくれたようですが、最近ではスズメバチが巣を作りにきたりと不安に思っています。土地主さんは、空き家にはいらしてないようです。何とか、近隣同士のトラブルにならずに手入れしてもらえる方法はないのでしょうか？</p> <p>よい解決方法ありましたら、ご教授頂けますと幸いです。最近祖母宅を取り壊してみても、ご近所様にも不安を与えていたのだと私自身も反省があります者です。どうぞよろしく願い申し上げます。</p>	<p>みどり課では、空き家から越境した木や草が隣地に影響している場合、空き家の所有者(管理者)に状況をお知らせし、対応を依頼する文書を送付していますが、当該物件については、空き家でない可能性がありますので、後日現地調査を行います。</p>	みどり課
6月	市民生活(くらし)	バス再編	<p>市民参加の意見はないでしょうか？桂浜の住民は、県庁前、市役所に行くのに不便です。</p>	<p>いただいた「市民の声」につきましては、運行会社のとさでん交通株式会社に確認しましたところ、以下のとおり回答がありました。</p> <p>桂浜から県庁や市役所へ運行する路線バスは、利用が少なかったことなどから、平成29年9月をもって廃止し、翌10月からは高知駅へ運行するルートに再編しております。</p> <p>現在、公共交通を取り巻く環境は、人口減少・少子高齢化や自動車社会の定着に加え、長引くコロナ禍や燃油価格・物価高騰の影響により、とさでん交通の経営状況はさらに厳しさが増しており、加えて、バス運転手不足や高齢化、さらには運転手の残業規制を強化する「2024年問題」により、現状維持することができない状況にあります。大変ご不便をおかけしますが、路線バス事業を取り巻く厳しい環境につきましては、何卒、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。</p> <p>路線バス運行に関するご意見・ご要望につきましては、とさでん交通株式会社 自動車戦略部 乗合課(088-833-7132)へお問い合わせください。</p>	交通戦略課

受付月	分類	件名	市民の声	回答(対応)内容	回付先
9月	市民生活(くらし)	7月11日付けの高知新聞「人口対策 外国人確保を」という記事を見て	<p>私は大学で外国の文化や異文化コミュニケーションを学び、高知県の外国人移住者促進のために力を注ぎたいという思いを持っています。新聞記事を見て、高知県の人口が減少していること、若年人口が県外に流出していることが改めてわかりました。香南市や土佐清水市の市長から、外国人材、外国若年層を高知に呼び入れる、そのために住宅環境の整備というような声もありました。高知市でも人口は減ってきていると思えます。私は外国の方に日本語を教えて高知県で暮らしてもらうだけでは足りないと考えています。また、技能実習生として高知に来てもらうのではなく、高知に永住してもらうことが大切だと考えています。そのため移住者の文化を理解し、その上で高知の文化も理解してもらう、つまり、高知の人も移住してくる人の文化を知ることが大切だと思うのです。住むことが決まればその地域で文化交流ができればお互いを理解することにつながり、暮らしやすくなるように思います。ほかに仕事のこと、教育環境のことなどの課題はたくさんあり、そのために高知県元気な未来創造戦略も実施していることを知っています。高知市長さんはこの「人口対策に外国人を」ということについてどのようなことを考えていますか。教えていただきたいです。また色々調べた中で疑問に感じたことを書きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人就労国家戦略特別区の制度があると思うのですが、高知はなぜ利用しないのか ・外国人が来てもらうために最も高知県が力を入れていることは何か ・外国人が移住する際、なにを一番重視したら良いと考えるか ・中山間地域に移民の受け入れが必要だが仕事と住まいはどのように考えているのか <p>また、高知市民である私たち若者がすべきことはなんだと思うのかも教えていただきたいです。よろしくお願致します。</p>	<p>本市を取り巻く人口動態ですが、近年、自然減(出生者数と死亡者数の差)と社会減(転入者と転出者の差)を合わせて年間3千人程度減少しており、とりわけ、ご意見にもありますとおり、若年層の転出超過が顕著に見られ、人口減少に歯止めをかけられていない状況でございます。そのような状況下において、まず、本市の人口減少対策を進めるにあたって、外国人の受け入れは今後ますます重要になるものと考えております。</p> <p>高知県では今年度を計画始期とする「第2期高知県外国人材受入・活躍推進プラン」※1を策定され、外国人受け入れの促進に向けた取組に加え、いかに定着いただくかというポイントを持って、「暮らしやすい」「働きやすい」「学びやすい」の3つを柱とした環境づくりを進めていくこととされており、県独自の取組に加え、県内の市町村が行う日本語教育支援などの生活面での支援メニューに対する補助を盛り込んでいただいております。</p> <p>今後は本市独自の取組を進めるとともに、れんけいこうち広域都市圏※2における県内全市町村との連携のもと、本年7月に開催した県内全市町村長からなる会議において、人口減少対策について意見交換を実施し、圏域が一丸となって、外国人受け入れを促進していく必要があると共通の認識をもったところで。</p> <p>※1:詳細は以下のURLからご確認ください。 https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/202404100108/ ※2:高知県内の全34市町村からなる圏域で、中枢都市である高知市がリーダーシップを発揮しながら、市町村の枠を超えて、人口減少対策として様々な事業に取り組んでいます。</p> <p>次に、いただいた5点のご質問について順次お答えいたします。</p> <p>まず、「外国人就労国家戦略特区を利用しない理由について」でございます。国家戦略特区における規制改革のメニューの一つに外国人材がございしますが、国家戦略特区は国家戦略特別区域法(平成25年法律第107号)に規定されておりますとおり、区域の認定や基本方針の策定は、政府が行うものであり、地方公共団体からの申請等に基づくものではないことが理由となります。</p> <p>次に、「外国人が来てもらうために最も高知県が力を入れていること」でございますが、こちらは別途県からの回答をお願いしておりますのでご確認ください。</p> <p>次に、「外国人受け入れにあたって重視すべき点はなにか」でございます。外国人を労働力の担い手として受け入れる環境は、育成就労制度の創設により転籍の制限が緩和されますので、労働条件の良い都市部等へ外国人が流れることが危惧されますが、〇〇様のおっしゃる「永住」いただくという点において、高知の良さをPRし、暮らしやすさの面で外国人から選ばれる高知を目指すことが重要であると考えます。</p> <p>そのためには、日本語教育の支援や〇〇様もおっしゃる多文化共生の考え方を浸透させること、また、入居契約が困難な事例も同っておりますので、住居確保にあたっての支援といった、生活面でのフォローをしっかりと充実させていくことが重要であると考え、こうした点につきましては、次にご質問いただいております「中山間地域」においても、同様であると考えます。</p> <p>最後に、「外国人受け入れの促進にあたり、高知市民の若者がすべきことはなにか」でございます。多文化共生とは、多種多様な文化や価値観を相互に理解することに始まり、そして尊重することが求められますが、これはSDG10「人や国の不平等をなくそう」をはじめ、国際目標であるSDGsの考え方にも合致するものと考えます。また、異文化との交流においては、まずは自国やふるさとの歴史や魅力をしっかりと理解し、発信できることが大切ですので、高知のことを改めてよく知っていたら、様々な場面で観光大使のように外国人の方々や交流いただけたらと思います。</p> <p>〇〇様におかれましては、異なる文化や価値観の正しい理解をさらに深められますよう、好奇心とチャレンジ精神を持って、幅広い学びを続けていかれますとともに、SDGsの達成に向けてできることに積極的に取り組んでいただくことを期待しております。</p> <p>この度は、貴重なご意見をいただきありがとうございますございました。</p>	政策企画課